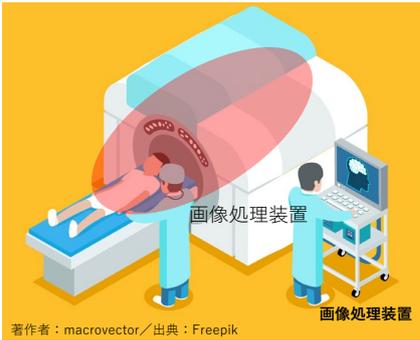
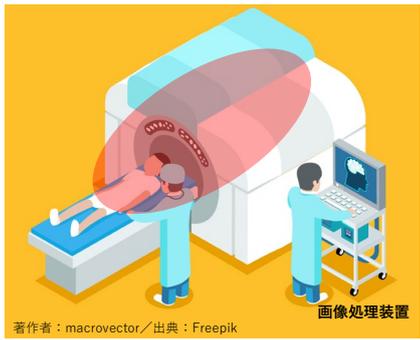


ビギナーのための超電導 正誤表

2024/4/23

寺尾悠

ページ 章 節	誤	正
p. 15 第 1 章	超電導の発見	超電導 <u>現象</u> の発見
p. 24 第 1 章 1.3.2	印可された外部磁界の方向	<u>印加</u> された外部磁界の方向
p. 25 第 1 章 1.4	密度 n_s [1/m ³]	密度 n_s [<u>1/m³</u>]
p. 29 第 1 章 1.4	1次元すなわち両辺が x 成分のみ	1次元すなわち両辺が <u>x 成分</u> のみ
p. 38 第 1 章 1.7	$\Delta Q_0, \Delta Q$	<u>$\Delta Q_0, \Delta Q$</u>
p. 39 第 1 章 1.8.1	超電導線材の一種で、	超電導 <u>材料</u> の一種 <u>です</u> 。
p. 44 第 1 章 1.8.6	バルク超電導体を着磁 29 K で 17.24 T を達成した論文	バルク超電導体を <u>29 K で 17.24 T の着磁に成功した論文</u>
p. 45 第 1 章 1.9.1	外部印可磁界です。	外部 <u>印加</u> 磁界です。
p. 46 第 1 章 図 1.24		
p. 47 第 1 章 1.9.1	緩和時間の分だけが増加に時間は	緩和時間の <u>増加分だけ時間</u> は
p. 47 第 1 章 1.9.2	すなわち超電導線材の特徴をある意味、	<u>よって</u> 超電導線材の特徴をある意味、

p. 67 第2章 2.2.3	その中の z 方向 (高さ方向)	その中の <u>z 方向</u> (高さ方向)
p. 85 第3章	z 成分 (<u>z</u> の成分) のみになります 添字の成分表示 y, z を取り除いて	<u>z 成分</u> (<u>z</u> の成分) のみになります 添字の成分表示 <u>y, z</u> を取り除いて
p. 86 第3章 図 3.9		
p. 87 第3章	そして B_3 まで上がり切ったところで、 <u>超電導体を何らかの方法で冷却し (第2章では液体窒素を使用)、十分に時間が経過したところで再度、</u> →本項 (3.5.2) 中の現象の計算は、ゼロ磁界中冷却 (ZFC) のプロセスの変化ですが、誤って磁界中冷却の説明であるかのように記述がされたいです。	そして B_3 まで上がり、十分に時間が経過したところで再度、
p. 88 第3章	$-t < x < -\alpha$	<u>$-t < x < -\alpha$</u>
p. 94 第3章	$B = B_3$ となるので、式(3.40)は	$B = B_3$ <u>となり</u> 、式(3.40)は
p. 95 第3章	$B = B_3$ となるので、	$B = B_3$ <u>となり</u> 、
p. 98 第3章	$B = -\mu_0 J_C (\beta - t) + B_2$ となりますので、	$B = -\mu_0 J_C (\beta - t) + B_2$ <u>となり</u> 、
p. 99 第3章	$\beta < x < t$	<u>$\beta < x < t$</u>
p.151 第5章	時間的にゆっくりと変化する	時間的にゆっくりと変化する <u>電磁場</u>
p.155 第5章	何でこんな見かけが	<u>なんで</u> こんな見かけが
p.187 第5章	中心付近は 10^7 A/m^2 オーダーの電流が流れ、	中心付近は <u>10^7 A/m^2</u> オーダーの電流が流れ、
	最大 $1.1 \times 10^8 \text{ A/m}^2$ 程度の電流が流れていた	最大 <u>$1.1 \times 10^8 \text{ A/m}^2$</u> 程度の電流が流れていた